



「井田寛子の気象キャスターになりたい人へ伝えたいこと」

井田寛子 著

成山堂書店, 2013年3月
218頁, 1600円 (本体価格)
ISBN 978-4-425-51331-4

NHK「ニュースウオッチ9」の天気予報でおなじみの気象キャスター、井田寛子さんの著書。今や全国に知られる気象キャスターだが、それまでの道のりには紆余曲折があり、大変な苦労があったようだ。

獣医を夢見ていた著者が、なぜ気象キャスターを目指すようになったのか、伊勢湾台風など甚大な被害をもたらした台風が数多く上陸し、台風の特異日といわれる9月26日に生れたことが運命だったのかもしれないが…。全く違った分野から気象キャスターに転身したきっかけはいついたい？

詳しくは著書を読んでほしいが、少しかだけ紹介したい。大学卒業後に勤めた製薬会社のプレゼン発表を通じて、「伝える」ことへのやり甲斐を感じ、「もっと伝えることを探求したい」と放送の世界へ。そして、NHK静岡放送局のレポーターとして活躍。地震災害の意識が高い静岡での取材を通じ、「防災情報を伝える」仕事に夢を見出し、気象キャスターという目標に到達したのだという。

理系女子とはいえ、気象学を学んできたわけでない著者にとって、気象キャスターの前提となる「気象予報士」の資格取得には非常に苦労した。自身の性格を「何とかするの負けず嫌い・有言実行」と自負しているように、強い思いを持ち、努力し続けたことが夢を叶えることになったのだと思う。

気象予報士になりたての著者が、NPO法人気象キャスターネットワーク主催の気象キャスター育成講座を受講し、そこで私も指導したことがあるが、この時すでに井田寛子という原石は輝きの片鱗を見せていた。「伝える」ことに関しては抜群の能力があり、気

象キャスターとして光輝くのは間違いないと確信したのをいまでも覚えている。

本書では、気象予報士や気象キャスターになるためのノウハウが書かれており、目指している人には非常に参考になるはずである。

本書の目次は以下のとおりである。

1. 資格取得、オーディション突破のノウハウ一挙公開
 - 1) 基礎・気象予報士の仕事とは？
 - 2) すべてを語ります。私はこうして「気象予報士」をとった
 - 3) 「気象キャスター」になる！
2. 気象キャスターになる 「あなたのための情報ボックス」
 - 1) 各季節の「典型的な天気」を伝えます
 - 2) 踏まえておきたい「最近の気象災害」
 - 3) 変わる気象情報
3. もっと知りたい！ 井田流「勉強法」と「気象キャスター」への道のり
4. 井田寛子が教える 「知っておきたい豆知識」

本書はタイトルにあるとおり、気象キャスターを目指す人に向けた著書ではあるが、著者が目標を見出し、努力しつづけ、夢を叶えていく姿は、職業や目標に悩んでいる学生にとって大いに参考になると思う。

また、気象研究者や気象庁関係者にもぜひ本書を手にとってもらいたい。気象災害の犠牲者をなくすためにも、天気予報の精度向上と共に、伝達者である気象キャスターとの連携が不可欠であるが、その第一歩として気象キャスターの置かれた環境や思いを知っていただければと思う。お互いを知り、協力していくことが防災気象情報の発展に寄与することになると私は信じている。NHKで井田寛子さんの天気予報を見たら、本書を思い出してほしい。

(NPO法人気象キャスターネットワーク 岩谷忠幸)